

IEI

東野便り

HIGASHINO DAYORI

07

学校法人
東野学園 東野高等学校
総務部

「区切りをどう考えるか」について

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

春色のなごやかな季節、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。2020年度修了式では放送にて下記のようなお話をさせていただきました。

1・2年生の皆さんおはようございます。進級おめでとう。

2020年度は、コロナウイルス感染症対応におわれた1年間だったと言っても過言ではないでしょう。この1年間『日常をどう組み立てるか』『つながり方について』『会う喜びについて』『結束力について』『制約の中で生きることについて』ということをお話してきました。その都度の区切りとして、皆は心に留めてくれたらと思うています。

では最初に、卒業生についてお話ししておきます。卒業証書授与式は、今年度も卒業生と教職員だけで時間を短縮して行いましたが、誠に立派な式でした。本校での学びを確かなものにして次のステージに進むその姿は自信に満ちていました。人生に一つの大きな区切りをつける意味でも卒業式が滞りなく行えて良かったと思っています。

そこで、「区切り」について考えてみました。2021年3月11日で東日本大震災から10年が経過しました。本校でも、教職員全員で2時46分には黙とうし犠牲者を悼むと同時に現地の日も早い完全な復興を祈りました。ニュースなどでは、10年は区切りではないとお話されている方もいらして、そのことについて私などがコメントする立場ではありません。ただ、区切りをつけることは、忘れなさいと言うことではなく、前に進むことの原動力の一つとしましよと捉えたらどうでしょうか。学生時代は、入学式・卒業式があり、学期末ごとに試験があったり、進級するたびにクラス替えで人間関係が変化したり、何かと区切りを感じる時が多い時です。人生は区切りをつけること、その区切りを上手に使いこなすことが大事です。そのことによって、自分の成長過程を振り返り、現在を確認し、未来に向けての新たなスタートに明確な目標を定められることに活かせるからです。卒業生は、卒業式を一つの区切りとして新たなスタートを切っていました。

さて、1・2年生の皆は、進級を一つの区切りとして、1年間を振り返り、それぞれの目標を明確にしましょう。過去にしがみついているも、過去は変えることが出来ません。君たちにできることは、過去をどう未来につなげていくかを、考え行動に移すことです。コロナ禍の1年を各自振り返り2021年度の在り方を考え、やるべきことを、確実にやってみましょう。

ここで、今年度の大学入試結果を見ておきましょう。今年度の3年生も頑張りました。日東駒専の合格者数は100名に迫り、日大合格者数の多い学校として、『サンデー毎日』の合格速報にも掲載されました。このような実績を残せたのはなぜか、先日「3年間ありがとうございました」と校長室を訪ねてくれた4人の卒業生は、こんなことを言っていました。

- ・言われたことを素直にやり続けること。 ・英検週間はいい行事だね。
- ・もっと自分を表現するグループディスカッションが良かった。
- ・厳しい先生がいいよね、先生も厳しくするほうが大変でしょうが。

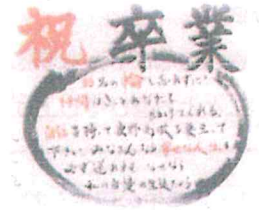
話しながら、名残惜しくて仕方なくなりました。この時は、私自身も、区切りをつけなければと自分自身に言い聞かせました。

この3年生の話からも素直な気持ちでやり続けることが大事で、そのことによって結果がついてくるということです。まだまだだったなと思う人は、今日から取り組みましょう。明日ではなく、今日からです。学年末休業中には、読書を勧めます。図書委員会から【教員・図書委員、おすすめ本一覧】が渡されたでしょう。それを参考にし、読むことによって知識は第一の宝を実感してほしいと思います。自粛期間が解除されたとしても、自らを守るのは、冷静な振る舞いであり、品行は最高の美です。そして、まだ我慢しなければならぬ日々が続きます。健全な信頼関係を維持させ、感情だけに流されないことが大事で、忍耐は無上の力です。このような建学の精神が根付いている学校で2021年度も学び続けましょう。私たち教職員も、新年度に「東野SDGs」を打ち出しますし、日課表も変わります。その変化を楽しみましょう。

最後になりました、東野の教員の活躍をご紹介します。国語科・書道科の小池功一郎教諭が日本一に輝きました。生徒も教員も人は宝です。

この度、第83回謙慎書道会展において最高賞である西川賞を受賞いたしました。授業で書道を教え、そして生徒から刺激を受けながら自己の研鑽に努められたことが今回の受賞につながったと思います。また、卒業式にはクラスの生徒に向け筆でメッセージを揮毫（きごう）しました。様々な場面で書の楽しさを広めていけるよう今後も活動していきたいと思ひます。

(東野高等学校 小池功一郎)



2021年度に向け、私たち教職員もいつもより時間的には少し余裕がある部分も持ち合わせておりますので、より一層準備・研修に力が入っております。また、ご心配なこと等ございましたら、学校にご連絡いただければと思ひます。最後になりましたが、改めまして2021年度もよろしくお願いいたします。

謹白

学校評価アンケート実施にご協力いただき、ありがとうございます。今回は、全体結果を掲載させていただきました。この結果を真摯に受け止め、改善すべき点は早急に取り組むことといたします。(7)教育活動においてデジタルコンテンツが有効に活用されている、(12)学校行事が教育効果を上げている、(19)新型コロナウイルス感染予防への対応が充分である、にはご不満な点が多くなっています。また、クラスごとの分析をすることによってクラス間格差も見えてまいりました。これらの点を踏まえさらに創意工夫をこらし教育活動に邁進してまいります。

学校評価アンケート

① 非常にそう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない
④ 全くそう思わない ⑤ 未回答

